

学校において新型コロナウイルス陽性が確認された場合の対応について (保健所による濃厚接触者の特定が難しくなった場合)

県内は過去に経験のないような感染拡大の局面にあります。

今後、保健所による濃厚接触者の特定が難しくなった場合、学校での感染拡大を防ぐため、初動の体制について下記の対応となることがありますので、事前に連絡いたします。ご理解、ご協力をお願いします。

【学校】

- 学校は、保健所による濃厚接触者の特定が難しくなった場合、児童生徒や教職員等の陽性が確認された時点で、その児童生徒等が所属する学級及び部活等を直ちに一旦閉鎖し、感染拡大を防ぎます。
- この一旦閉鎖の期間中に保健所と連携し、濃厚接触者を特定します。

【保護者の皆様】

- 児童生徒等の陽性が確認された場合は速やかに学校へ連絡してください。
- 学校は、濃厚接触者を特定するため、陽性となった児童生徒等への聞き取りを行いますので、ご協力をお願いします。
 - ・ いつ、どこで、誰と、どのような接触があったのか等を聞き取ります。
 - ・ 児童生徒等への聞き取りが難しい場合（小学校低学年等）、保護者を通じての聞き取りになることもあります。

- 濃厚接触者に特定された児童生徒等は PCR 検査を受検いただくこととなります。陽性の場合是一定期間の療養、陰性の場合には 10 日間程度の行動自粛（出席停止）になります。
- 濃厚接触者に特定されなかった児童生徒等は発熱などの症状がなければ登校可能です（臨時休業の対象となった場合を除く）。

【学校】

- 一旦閉鎖を行ったうえで、感染拡大の可能性が高い場合において、臨時休業の検討を行います。
- 学級閉鎖：以下に該当し、学級内で感染拡大の可能性が高い場合
 - ① 同一の学級で複数の児童生徒等が感染した場合、② 感染者が一人でも風邪等の症状を有するものが複数存在する場合、③ 1 人の感染者が判明し、複数の濃厚接触者が存在する場合、④ その他、学校長が必要と判断した場合、のいずれかに該当する場合。
- 学年閉鎖：複数の学級を閉鎖するなど、学年内で感染が広がっている可能性が高い場合
- 全学年閉鎖：複数の学年を閉鎖するなど学校内で感染が広がっている可能性が高い場合